

〔全体計画〕

小学部第 * 学年 生活単元学習指導案

日時	令和2年*月*日（*）10：45～11：30	場所	小学部*年*組教室
指導者	川上 ゆうか (T1), ** ** (T2), ** ** (T3), ** ** (T4)		
単元名	「秋を感じよう」		
単元設定の理由	<p>本グループは、小学部*年生の重度重複教育の課程に在籍する男児1名、女児3名、計4名で構成されている。全員が車いすを使用しており、日常生活全般において支援を要する。コミュニケーション面では、全員が言語表出はないものの、呼びかけに対して自ら手を動かして反応することができる児童が2名、表情や顔の動きで反応することができる児童が1名、視線で反応することができる児童が1名である。さらに、ほとんどの児童が、不快なことがあったり要求が通らなかつたりすると、泣いたり怒ったりして伝えることができるが、伝達方法はまだ乏しい。学習面では、児童はそれぞれ好きなものがあるがまだ限定的であり、興味・関心が狭い。経験が少ないことから、初めての活動の際には苦手意識をもつこともある。生活面でも、自分から何か手を伸ばすことはほとんどなく、自己刺激の中で楽しんでいる児童が多い。</p> <p>本題材は、特別支援学校学習指導要領解説の生活科の第1段階の目標「ア 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けるようにする。」、特別支援学校学習指導要領解説自立活動編のコミュニケーション（1）「コミュニケーションの基礎的能力に関すること。」特別支援学校学習指導要領解説の国語科の第1段階の目標「イ 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。」の内容に基づいたものである。視覚、聴覚、嗅覚など様々な感覚を使って感じる事ができる秋を題材とすることで、外界からの働きかけに気づいて興味をもったり、自分の優れた感覚で秋に関するものの中から好きなものを見つけたりする力を身に付けた。さらに様々な刺激の中で活動をすることで、感じたことを自分なりの表現で表出する力を伸ばしていくことができるのではないかと考えた。</p> <p>指導にあたっては、まず授業のはじめに児童の授業への意識を高め、秋の世界に入っていけるように、「どんぐりころころ」や「木の葉」などの歌を聴く活動をする。「秋の植物を見よう、触ろう」では、秋の植物を知ることができるように、学校にある自然を撮影した映像を見て秋に関するものを探し、見つけたものを実際に触る活動を行う。次に「秋の小道を散歩しよう」では、教室を小道に見立てて秋を体感することができる学習を行う。活動の中で、進むごとに変わる景色を見たり、落ち葉やススキなど感触の異なる植物を触ったり、金木犀のにおいを嗅いだり、鈴虫などの秋の虫の声を聴いたりすることで、様々な刺激の中で感じたことを自分なりの表現で伝える力を伸ばしていくことができるのではないかと考えた。さらに「秋を探しに行こう」では、実際に外に行き秋の植物を見たり触ったりすることで、日常生活でも様々なものに視線を向けたり手を伸ばそうとしたりする姿を期待したい。</p> <p>これらの活動を通して、普段の生活の中でも外界のよさや変化に気づき、自分の意思を伝える機会が増えてほしいと考え、本題材を設定した。</p>		

単元で育成する 資質・能力	<p>○秋に関するものを知るために、秋に関するものを見たり触ったりすることができる。(知識及び技能)</p> <p>○身近な人からの関わりを受け止めたり、秋に関するものとの関わりの中で自分の思いを表出したりすることができる。(思考・判断・表現力)</p> <p>○秋に関するものに関心を持ち、それらの働きかけのよさや楽しさに気づくとともに、生活でも様々なことに関心をもとうとする。(学びに向かう力・人間性等)</p>			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・秋に関するものを知るために、身近な秋の植物を見たり触ったりするなどの技能を身に付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師からの話し掛けに対して注目することができる。 ・見たり触ったりしたのに対して感じたことを表情や身振り、発声等で表現しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な教師や秋の植物に関心をもち、それらと関わるよさや楽しさ等を感じながら学習や生活に生かそうとしている。 	
単元における児童の実態及び個別目標		単元における児童の実態	単元における個別目標	自立活動の目標
	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が提示したものを見て手を伸ばし、口に入れて感触を確かめようとする。 ・嬉しいときには笑顔になり、不快なときには眉間にしわを寄せて気持ちを表出することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目の前で教師が提示したり触ったりしている植物に視線を向けたり手を伸ばしたりすることができる。 ・秋に関するものを見たり触ったりしたときに感じたことを表情で表出することができる。 	
	B	<ul style="list-style-type: none"> ・視力が弱いですが、目の前で物を提示すると視線を動かしたり、声をかけられた方向に顔を動かしたりすることができる。 ・嬉しいときには笑顔になったり発声をしたりし、不快な時には眉間にしわを寄せたり泣いたりして気持ちを表出することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の声がする方向に顔を向けて注目しながら活動に参加することができる。 ・秋に関するものの匂いを嗅いだり触ったりして、感じたことを表情や発声で表出することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の言葉かけを聞きながら、提示されたものに触れて表情を変化させることができる。
	C	<ul style="list-style-type: none"> ・自閉的傾向があり、自己刺激で楽しんでいることがあるが、顔の近くで具体物を提示したり体の一部で水などが触れたりすると、数秒視線を向けることがある。 ・好きな活動には笑顔で参加することができ、好きではないものは手で払いのけて気持ちを表出することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目の前にある植物や体に触れた植物に視線を向けようとするすることができる。 ・秋に関するものの匂いを嗅いだり触ったりしたときに感じたことを、表情や体の動きで表出することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提示されたものに視線を向けながら触れることができる。
	D	<ul style="list-style-type: none"> ・提示されたものに対して視線を向けたり、興味があるものには自ら手を伸ばしたりすることができる。 ・嬉しい時には笑顔になったり腕を上下に動かしたり、不快な時には顔をしかめたりする。また、発声で気持ちを伝えようとするすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目の前にある植物に自分から手を伸ばして触ることができる。 ・秋に関するものを見たり触ったりして感じたことを、表情や発声、体の動きで表出することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された物に自分から手を伸ばして活動に参加することができる。

	次・小単元名	時	学習内容・活動	評価規準・評価方法	関連教科等
単元の指導計画と評価(10時間扱い) 本時は第8時	1 「秋の植物を見よう、触ろう」	1～4	<ul style="list-style-type: none"> 学校の自然が映っている動画を見ながら、映像に映っている秋の植物を探す。 歌に合わせて秋に関するものを見たり触ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 秋に関するものを知るために、教師と一緒に提示された植物を見たり触ったりしようとしている。 (知識・技能)【観察】 	国語科 <small>(特別支援学校学習指導要領小学部国語科)</small> 生活科 <small>(小学1年生)</small> 音楽科 <small>(特別支援学校学習指導要領小学部音楽科)</small> 図画工作科 <small>(特別支援学校学習指導要領小学部図画工作科)</small> 自立活動 <small>(6-(1)コミュニケーション)</small>
	2 「秋の小道を散歩しよう」	5～8 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 秋に関する歌を歌う。 教室に秋の小道を作り、植物を触ったり虫の声を聞いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師からの働きかけに注目したり応じたり、秋の小道を散歩する場面で感じたことを表情や身振り・発声等で表出しようとしている。 (思考・判断・表現)【観察】 	国語科 <small>(特別支援学校学習指導要領小学部国語科)</small> 生活科 <small>(小学1年生)</small> 音楽科 <small>(特別支援学校学習指導要領小学部音楽科)</small> 図画工作科 <small>(特別支援学校学習指導要領小学部図画工作科)</small> 自立活動 <small>(6-(1)コミュニケーション)</small>
	3 「秋を探しにいこう」	9～10	<ul style="list-style-type: none"> 秋に関する歌を歌う。 秋の雰囲気を感じることができるよう、実際に外に出て植物を見たり触ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 植物に視線を向けようとしたり、手を伸ばそうとしたりしている。 (主体的に学習に取り組む態度)【観察】 	国語科 <small>(特別支援学校学習指導要領小学部国語科)</small> 生活科 <small>(小学1年生)</small> 音楽科 <small>(特別支援学校学習指導要領小学部音楽科)</small> 図画工作科 <small>(特別支援学校学習指導要領小学部図画工作科)</small> 自立活動 <small>(6-(1)コミュニケーション)</small>

[本時の指導]

1 目標

(1) 全体目標

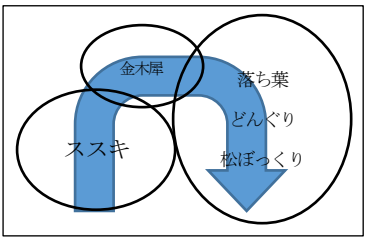
○教師からの働きかけに注目したり、秋に関するものに触れて感じたことを表情や身振り・発声等で表出することができる。
(思考力・判断力・表現力等)

(2) 個別目標

- A：秋に関する物が手や顔に触れたときに感じたことを、笑ったり眉間にしわを寄せたりした表情や、手で払うなどの体の動きで表出することができる。(思考力・判断力・表現力等)
- B：散歩の活動で、教師の声がする方向に顔を向けながら、秋の植物を教師と一緒に触ることができる。(思考力・判断力・表現力等)
- C：教師に手を導かれて秋の植物を触ったときに、快の感触のときには数秒間握り続け、不快な時にはすぐに離すことができる。(思考力・判断力・表現力等)
- D：目の前に提示された秋の植物に手を伸ばして触り、感じたことを笑顔や顔をしかめるなどの表情で表出することができる。(思考力・判断力・表現力等)

2 展開

※形態の表記は 全体：全、グループ：グ、個別：個

形態 時間 (分)	主な学習活動・内容 (必要に応じて配置図等を入れる)	指導の手立て (各Tの役割等) ※評価は□で囲む
全 (6)	1 始めのあいさつをする。 2 秋に関する歌を聴く。 ・「どんぐりころころ」 ・「木の葉」	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が児童の姿勢を正すことで、授業の始まりを意識することができるようにする。 ・秋を身近に感じることができるよう秋の歌を聴くことで、学習に期待感をもつことができるようにする。 ・歌に合わせて、児童の目の前でどんぐりを転がしたり落ち葉を降らせたりすることで、歌の情景のイメージをもちやすくする。 ・歌に合わせてどんぐりが入ったペットボトルを振ったり、降ってきた落ち葉を握ったりすることで、楽しく活動することができるようにする。
グ (32)	3 秋の小道を散歩する。  ・2名ずつ散歩をする。(一組目：A・C, 二組目：B・D)	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の一部の電気を消し、カーテンを閉めて薄暗くすることで、秋の雰囲気を感じることができるようになる。(T3, T4) ・小道のはじめにゲートを置くことで、散歩が始まる期待感をもつことができるようにする。 ・ススキに高低差をつけて置くことで児童が手を伸ばして触れるようにしたり、落ち葉を踏むことで外界からの刺激に気づきやすくなりする。 ・小道の途中にCDラジカセを置き、それぞれ違う虫の声を流すことで、秋の音を感じることができるようになる。 ・金木犀の花を手で仰いで匂いを広げることで、秋の匂いを感じやすくする。 ・植物を触った時の感触や音を、「ふわふわだね」「ガサッ、ガサッ」などと擬音語で表すことで、言葉の面白さに触れることができるようにする。 ・待っている児童に対しては、「〇〇ちゃん楽しそうだね」「すすき気持ちよさそうだね」等の言葉かけをすることで、友達に意識を

		<p>向け、活動に期待感をもつことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Aに対しては、具体物を揺らしたり手や顔にかかるように提示したりすることで植物に気づいたり触ったりすることができるようにする。(T2) <p>A： 秋に関する物が手や顔に触れたときに感じたことを、笑ったり眉間にしわを寄せたりした表情や、手で払うなどの体の動きで表出しようとしている。(思考・判断・表現)〔観察〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 視力が弱いBに対しては、植物を顔の近くまでもっていき、「〇〇だよ」と言葉をかけながら教師と一緒に触れるようにする。(T4) <p>B： 散歩の活動で、教師の声がする方向に顔を向けながら、秋の植物を教師と一緒に触れようとしている。(思考・判断・表現)〔観察〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Cが手を握ってしまっているときには、手の広げて手のひらに植物を乗せることで触ることができるようにする。(T3) <p>C： 教師に手を導かれて秋の植物を触ったときに、快の感触のときには数秒間握り続け、不快な時にはすぐに離して気持ちを表出しようとしている。(思考・判断・表現)〔観察〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Dの体を植物の方に向けたり、目の前で提示したりすることで、じっくりと植物を触ることができるようにする。(T1) <p>D： 目の前に提示された秋の植物に手を伸ばして触り、感じたことを笑顔や顔をしかめるなどの表情で表出しようとしている。(思考・判断・表現)〔観察〕</p> <p>教師からの働きかけに注目したり応じたり、秋に関するものに触れたときに感じたことを表情や身振り・発声等で感じたことを伝えようとしている。(思考・判断・表現)〔観察〕</p> <p>個 (6) 4 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が各 T と個別に活動を振り返ることで、振り返りの時間を十分にとることができるようにする。 ・ 反応が良かった植物を提示して、「〇〇だったね」とその時の様子を教師が言語化することで活動を振り返ることができるようにする。(各 T) <p>全 (1) 5 終わりのあいさつをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の姿勢を正すことで、授業の終わりを意識することができるようにする。
--	--	--

【教室配置】

